

和剣

和歌山県スポーツチャンバラ協会
〒641-0007 和歌山市小雑賀89
TEL 073-422-0308
FAX 073-427-6328

Vol. 90

2013年11月26日

1. 10月26日の**合同稽古**の結果。
標記の定例合同稽古会(十三番丁ビル：4階)には、福森・高島・田中・石上・中口(今吹衆)の5名が参加、対戦を主とする稽古に汗を流しました。
2. 11月1日の和歌山放送ラジオの結果
石上公望理事長が**ラジオ生出演**で「スポーツチャンバラ」の醍醐味について、大いに語りました。
3. 11月17日のトヨタカローラ「感謝祭」での体験コーナー実施結果。
トヨタカローラ和歌山塩屋新車センター。打合わせを兼ねた昼食会のあと、基礎講座、インタビュー(担当:福森)、模範試合を経て、**国体のPRを兼ねたゲーム感たっぷりの体験会**を開催。
出講：福森・高島・田中・高島(有誠)・中口(環太)。
4. 11月23日
○午後2時～4時：「有田川町スポーツチャンバラ**教室(第8回)**」の結果。
きび体育館。出席者数は4名。明るくて、楽しくて伸び々とした教室でした。
出講：福森・高島・由良・田中・安田・今吹衆(2名)
○午後6時～8時 「十三番丁道場」**道場開き**の祝典の結果。
「本町道場」が移転し、より広い道場に一新され、新道場名も「十三番丁道場」に決まったことから、これを祝賀する催しとなりました。「十三番丁道場」は、これまでの「本町道場」がそうであったように、和歌山県スポーツチャンバラ協会の”本部道場”として、総会、会議、研修、審査会、合同稽古などの協会活動の拠点となります。道場開きを祝う「基本動作」の演武の姿は”祝福”と”破魔邪鬼”の氣魂に燃えており、心身が引き締まるような感動を覚えました。
出席：石上・福森・高島・田中・安田・自灯館(6名)・今吹衆(4名)ほか。
5. 11月24日の「WBSラジオまつり2013 特別番組」での**実演**の結果。
和歌山城内・西の丸広場で「食祭 WAKAYAMA2013」と同時開催の「パーソナリティ対抗スポーツ合戦 小運動会」に出演。試合の実際を観て貰い、スポーツチャンバラ競技についての説明と解説をしてスポーツチャンバラをPRすることに努めました。
出講：石上・田中・福森・高島
6. 12月15日(日)那智勝浦町「スポーツチャンバラ**体験会**」
午前10時～12時までの間、那智勝浦町体育文化会館で体験会を実施します。
体験予定人数20人(小学生及びその保護者)
紀南地区での普及活動にとって、数少ない機会ですので着実に対応しましょう。
出講：福森・高島・田中ほか。

⌘ 武と道の字の解説 ⌘

日本武道では修行稽古という厳粛な事上錬磨によって精神を鍛練して技の蘊奥を極め、そして道に到達悟入することを一番大切な眼目としている。従って技は道に入る門であり、術であり、術即道であり、技道一如である。技神に入るとは技と精神との渾然一致の境地を指すものであるが、これは永年に亘る不断の修行精進の恐るべき威力の蓄積に外ならない。この生涯の修行稽古精進を通して、道に入り、道に従って自己完成を計るのが日本武道としての柔道である。武道はスポーツだというならば、剣道は竹刀競技、柔道は刺子競技で十分な筈だが、それでは満足できないのは何故か。自尊心が許さぬからだ。誇りが傷つけられるからだ。

(佐藤忠吾 著「日本武道精神講話」大道館 発行より 抜粋)